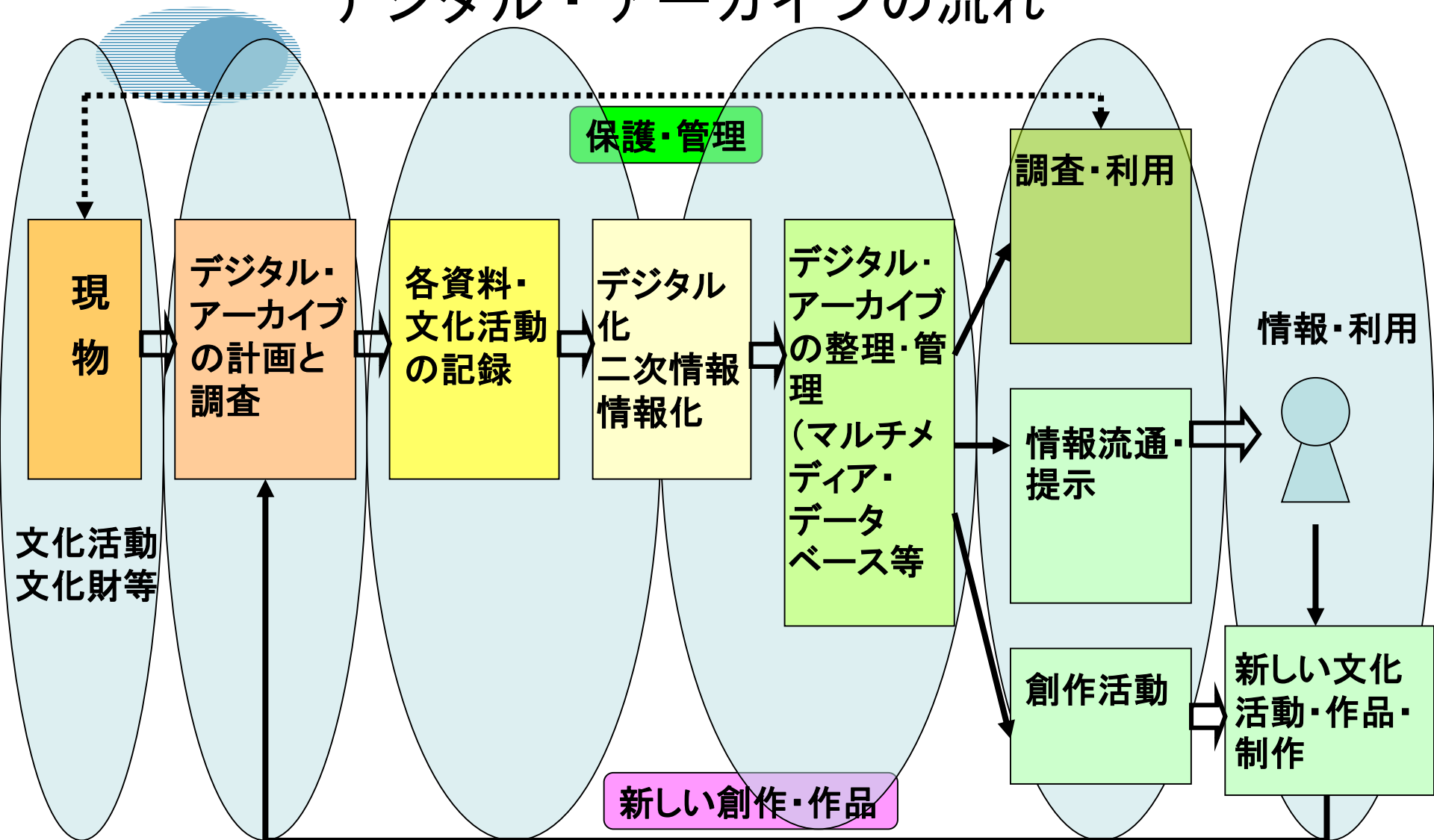


情報の発信と伝達

デジタル・アーカイブの流れ



デジタル・アーカイブと博物館

館内でのデジタル・アーカイブ

1 展示解説

デジタル・アーカイブを利用
来館者のニーズに応じた解説

2 博物館資料データの公開

収集した資料の台帳登録作業を電子化
し、データベース作成

デジタル・アーカイブと博物館

館内でのデジタル・アーカイブ

3 図鑑的アーカイブの提供

博物館の教育活用

動植物の図鑑や文化遺産の資料

<http://www.ins.kahaku.go.jp/>

4 資料映像の提供

展示解説を効果的に行う

動画ライブラリーとして公開

デジタル・アーカイブと博物館

Webページによるデジタル・アーカイブ公開

- 1 学習支援コンテンツ開発と公開
自然観察や科学実験のノウハウ等

<http://www.kahaku.go.jp/exhibitions/vm/>

- 2 博物館活動の記録公開
研究や展示の公開

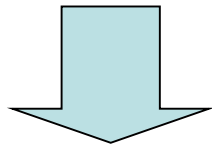
<http://research.kahaku.go.jp/>

- 3 動画や展示解説コンテンツの提供

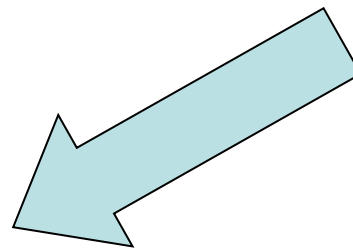
デジタル・アーカイブと図書館・公文書館

所蔵品・・・書籍がほとんど
著作権の問題→デジタル化して公開
不可能なものも多い

古文書・貴重資料



デジタル
アーカイブ



だれでも閲覧
いつでもどこでも
破損・紛失を防ぐ

<http://www.archives.go.jp/>

<http://porta.ndl.go.jp/>

図書館

<http://www.nhk.or.jp/archives/>

デジタル・アーカイブと地域資料

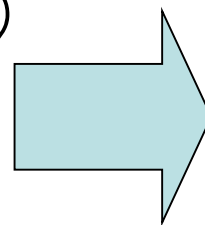
地域の資料

その地域ならではのもの

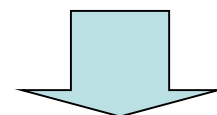
そこにあるもの(場所の特定)

そこにあったもの

そこから生まれたもの



まとめて
ひとつの
集まり



テーマごと
に見せる



デジタル
アーカイブ

収蔵品のデジタルデータ化

東京国立博物館

<http://www.tnm.jp/>

収蔵品・・・4×5インチフィルムで写真撮影
デジタルデータ

1枚のフィルム・・・8種類のデータファイル
RGB各色8ビット(256階調)でスキヤニング

4種類の解像度

500×625、1000×1250、
2000×2500、4000×5000

2種類の画像形式

TIFF(無圧縮のデータ形式)、JPEG(圧縮)

デジタル・アーカイブ作成のプロセス

現物をとらえる段階

各種有形無形の文化財全般、写真、映画等

計画と調査の段階

デジタル・アーカイブの概要、構造を整理

記録の段階

撮影、複写し、文章・画像・音声をデジタル化

データベース作成の段階

デジタルデータ全体の蓄積

プレゼンテーションの段階

各種作品を制作し、提供

利用の段階

作品を活用して、個人等が自分の目的に則した作品・製品を作成し提供

各段階で必要な技術(1)

記録の段階

記述情報のデータ化技術、現物を忠実に複写・再現するための撮影・スキャニング技術

撮影技術……………露出、絞りなど

スキャニング技術…使用目的にあわせた解像度
音のデジタル化……シャノンの標本化定理など

各段階で必要な技術(2)

データベース作成の段階

記録の段階で作成されたテキスト・画像・映像・音声などのデータ

データの分類、メタデータなどの二次情報

データベース構築のための機能の整理や仕様について

各段階で必要な技術(3)

プレゼンテーションの段階

作成されたデータベースに蓄積されたデジタルデータを利用して各種作品を制作する。

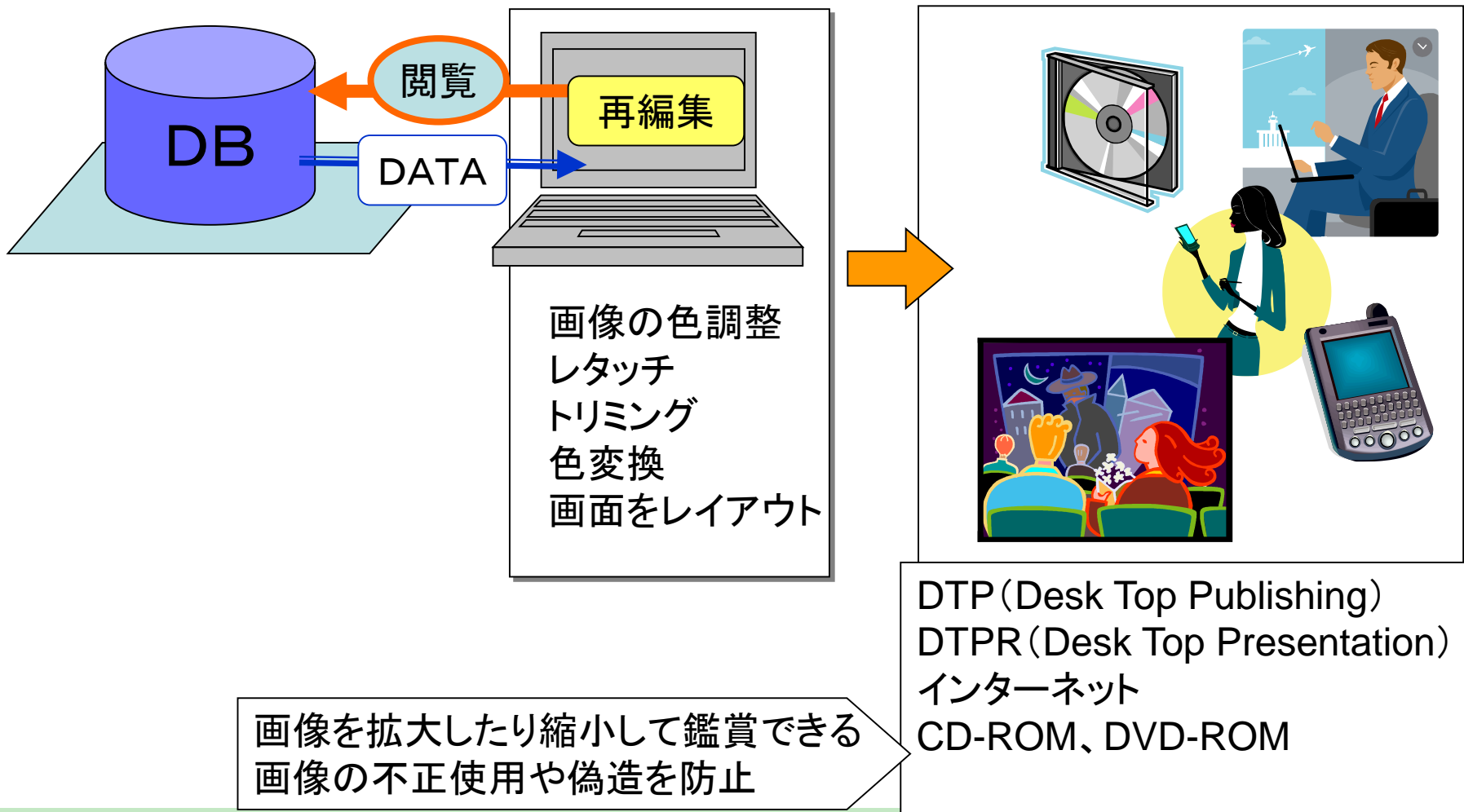
画像の色調整

画面のレイアウト

画像の加工

不正使用の防止

プレゼンテーションの段階における技術



技術

利用者の個別のニーズに応じた利用

使用目的に応じて画像加工

解像度の変更



300dpi



72dpi

使用目的に応じて画像加工

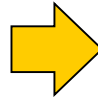
トリミング



技術

使用目的に応じて画像加工

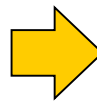
色調変換



技術

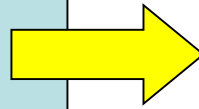
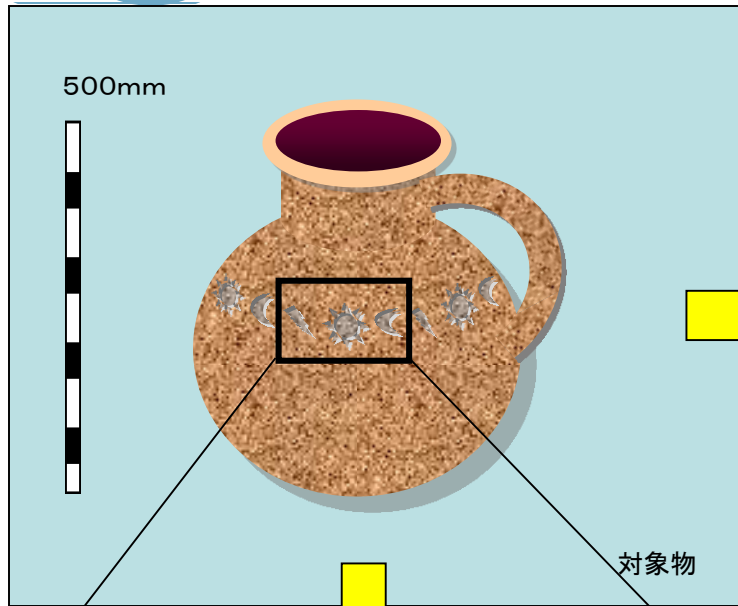
使用目的に応じて画像加工

レタッチ

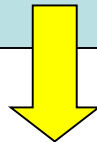
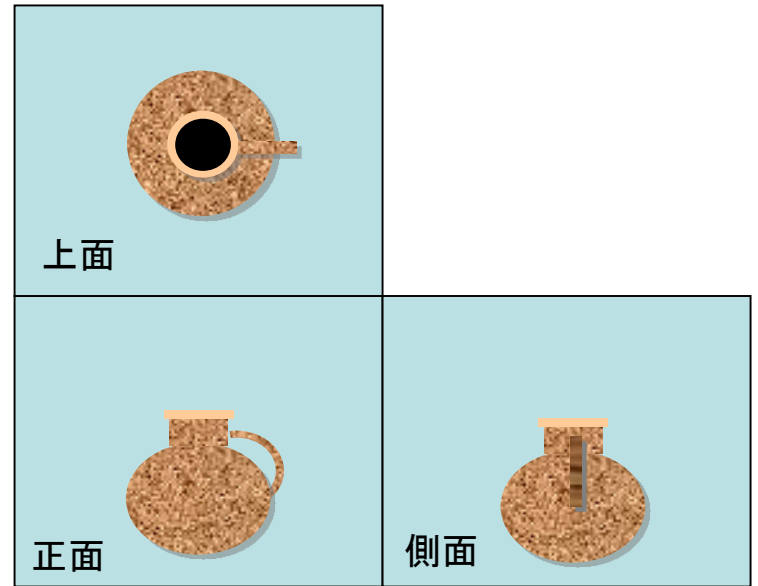


技術

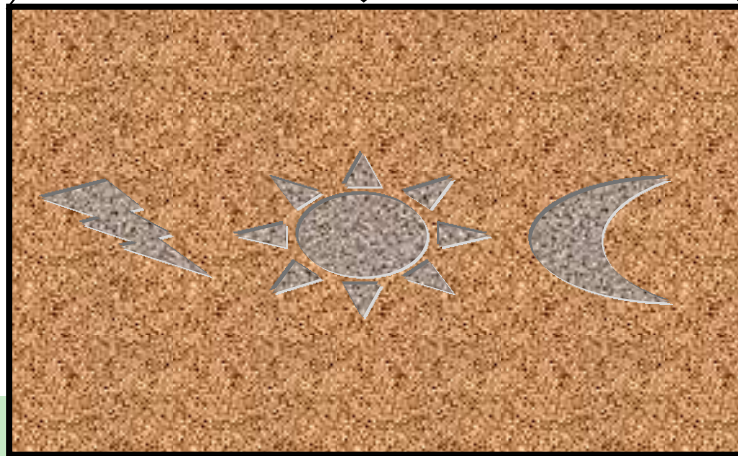
見せ方の工夫



3方向



一部分の拡大



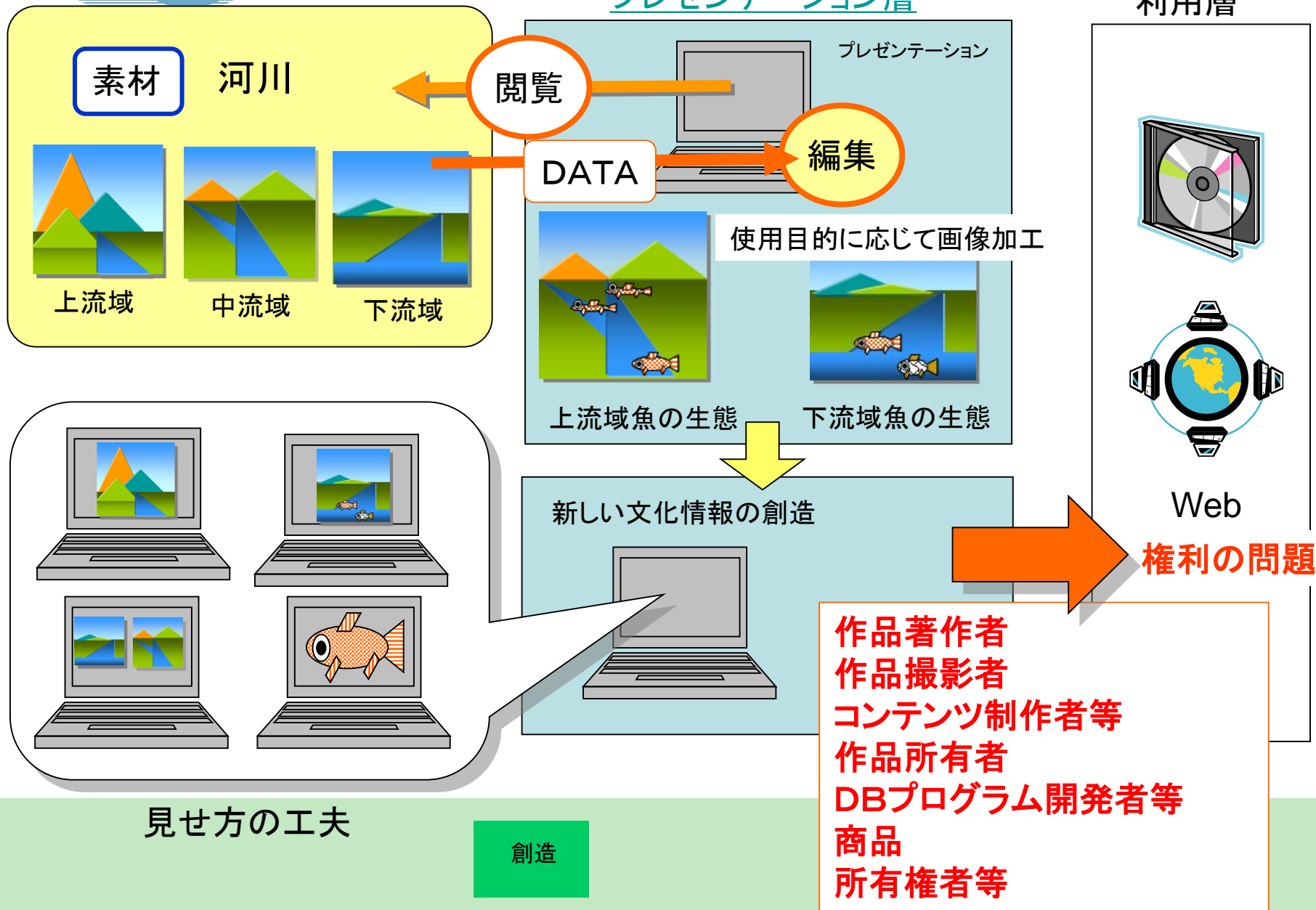
技術

新しい文化情報の創造

データベース

プレゼンテーション層

利用層



Web ページを使った情報発信 (1)

Web ページの実体

html、htmなどの拡張子のテキストファイル
HTMLという言葉で記述

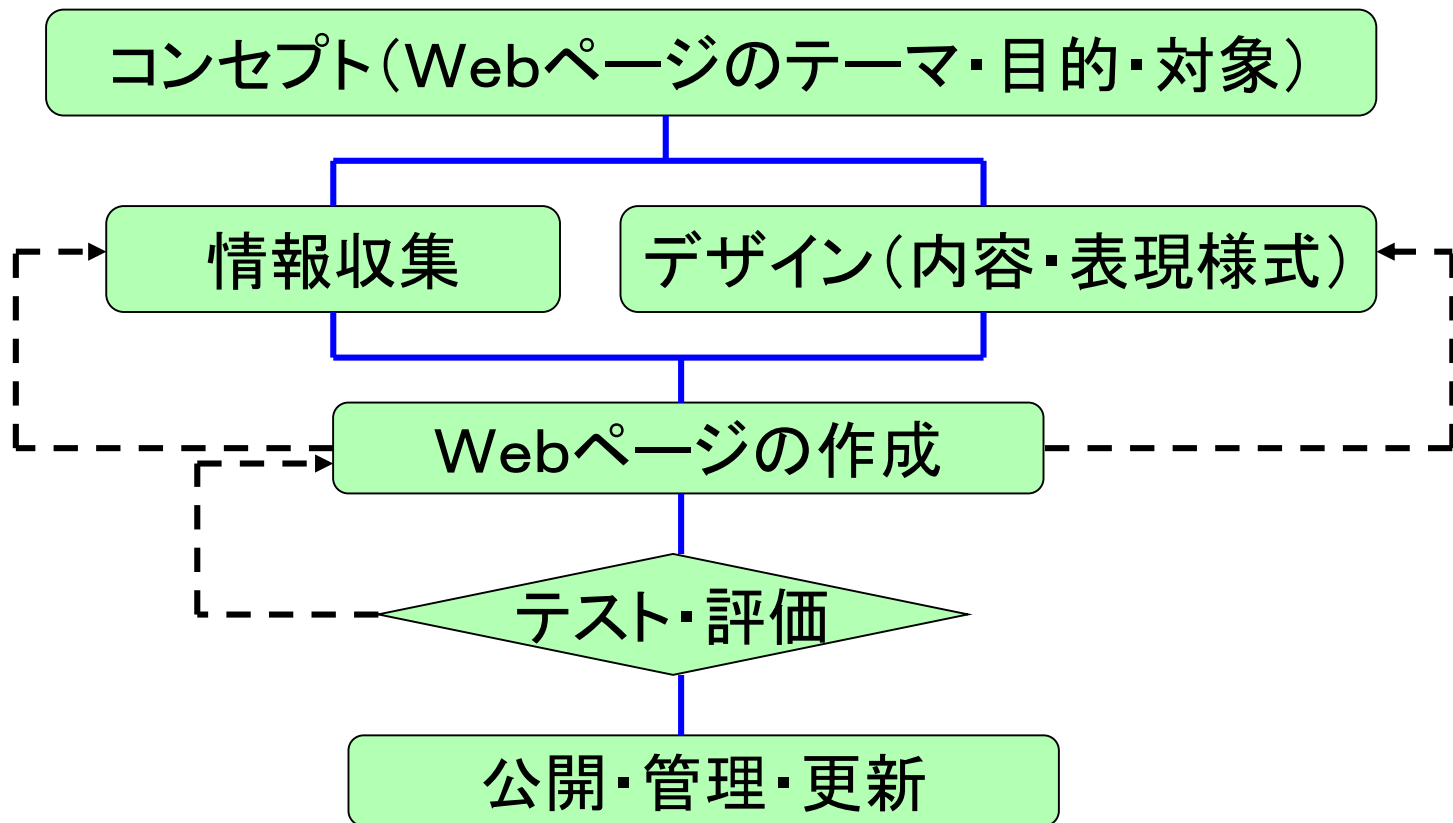
(HyperText Markup Language)

WWW (World Wide Web)

インターネット上でWebページを
閲覧できるサービス

Web ページを使った情報発信 (2)

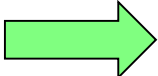
Web ページの作成の流れ



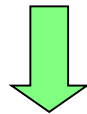
Web ページを使った情報発信 (3)

Web ページの作成と文書の構造化

- ・ 情報をグループ化

「意味のつながり」  まとめて認識

- ・ グループ化した情報にインデックス
「まとまり」にインデックス

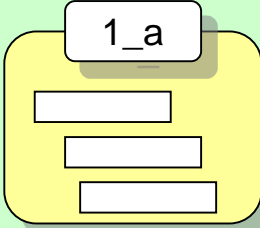


Web ページの階層化

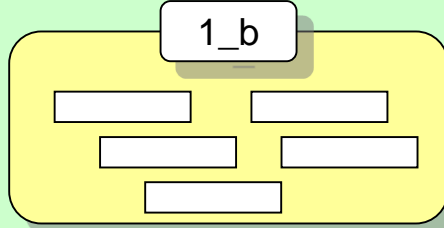
情報のグループ化

class_1

1_a



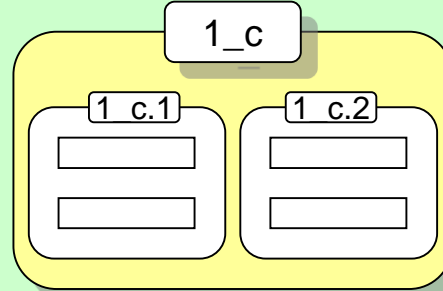
1_b



1_c

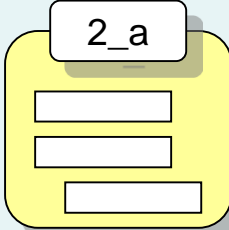
1 c.1

1 c.2

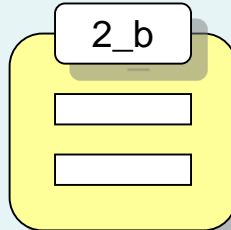


Class_2

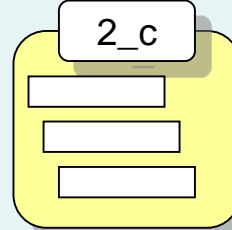
2_a



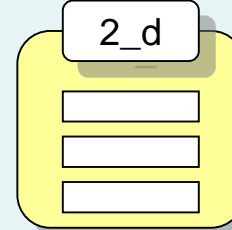
2_b



2_c



2_d

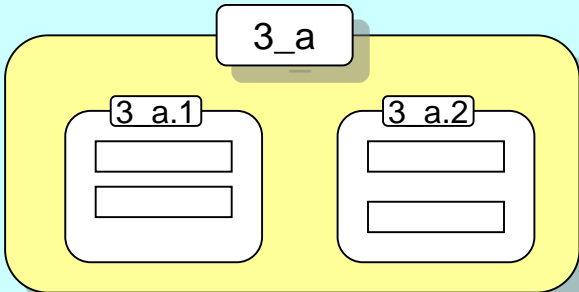


Class_3

3_a

3 a.1

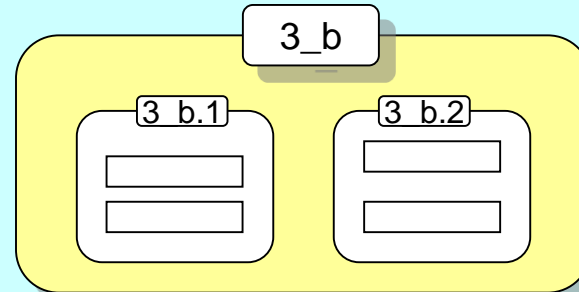
3 a.2

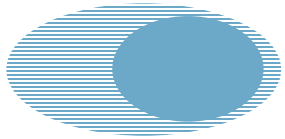


3_b

3 b.1

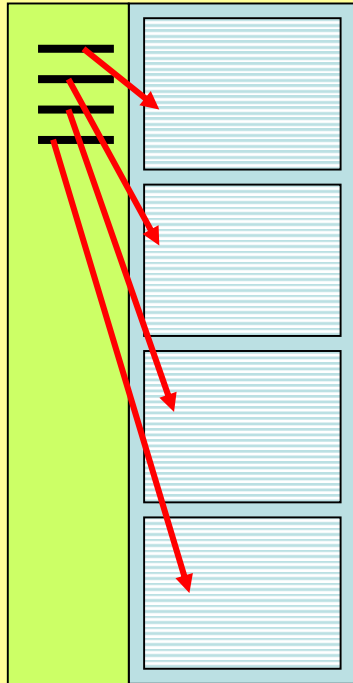
3 b.2



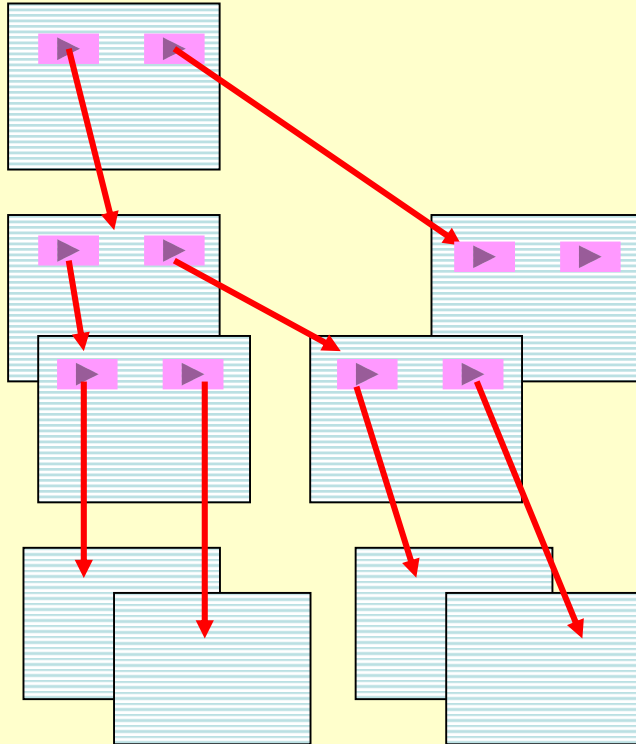


Webページの構造

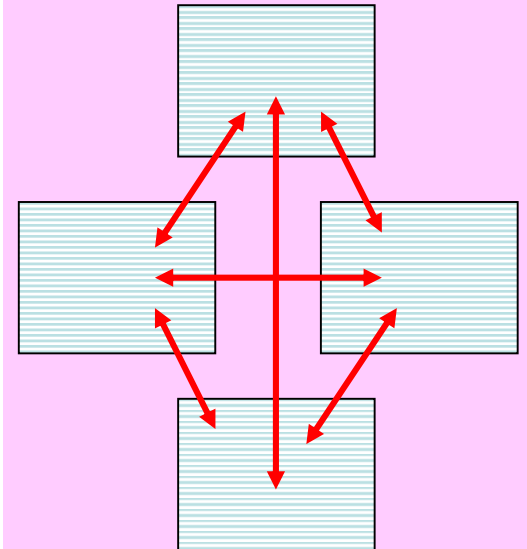
シーケンシャル型



ピラミッド型



ネットワーク型



Web ページを使った情報発信 (4)

Web ページの評価と改善

配
慮

ユーザビリティ(usability)

様々な機能が簡単な操作で使いやすいか

アクセシビリティ(accessibility)

どの程度すべての人々に利用可能か

評
価
の
観
点

使いやすさ・わかりやすさ・表現や内容の妥当性

信憑性の確認、著作権や個人情報への対応

Webページを使った情報発信（5）

Webページ作成上の留意点

（すべてのプレゼンテーションにおける留意点）

1 著作権への配慮

Webページ上に公開されていても著作権で保護

著作権フリーは、利用規約範囲内で断り無く使用できる

著作権放棄とは別に考えるべき

2 個人情報の取扱への配慮

3 情報発信の自由と責任